

法学部 カリキュラムマップ

授業科目	法学部法学科は、本学部の課程を修め、所定の単位の修得と必修等の条件を満たすとともに、リーガルマインドを兼ね備えた社会人としての責任感を持ち、礼儀作法を重んじ、社会の一員として適切な行動ができる人材を育成します。4年間の学修を通した総合的な到達目標(法学部の学生が卒業時に身につけておくべき能力)として掲げる下記の知識・能力・資質等を身につけた者に卒業を認定し、学位を授与します。			
	1	2	3	4
	1. <専門知識・技能の活用力> 実社会との関連性を視野に入れながら法学の基本的知識や理論を身につけ、それらをもとに様々な社会問題を追究し、法的知識を生かして紛争の発生を予防したり、解決したりすることができる。 2. <表現力> 情報ツールを活用して、情報収集や情報分析を行った上で、自らの意見を論理的かつ正確な日本語を用いて文章で表現する、もしくは発表することができる。 3. <コミュニケーション能力・多様性理解> グローバル社会にあって、様々なバックグラウンドを有する他者とコミュニケーションを図り、多様性を理解および受容しつつ、自分の考えを的確に表現し、意見を交わすことができる。 4. <自律的で意欲的な態度(自律性)> 自らの目標をもち、その実現のために自主的に勉学に勤しみ、意欲的に行動する態度や習慣を身につけ、努力を積み重ねることができる。			
基礎演習Ⅰ		○	◎	
基礎演習Ⅱ		◎	○	
専門基礎演習A	○	◎		
専門基礎演習B	○	◎		
専門基礎演習C	○	◎		
専門基礎演習D	○	◎		
専門演習		◎		○
法学への第一歩	◎	○		
法学入門	◎			○
経済学概論(経済学入門)	◎			○
経営学概論(経営学入門)	◎			○
憲法入門	◎	○		
憲法	◎	○		
行政法入門	◎			○
行政法	◎			○
地方自治法	◎			○
刑事法入門	○			◎
刑法	◎			○
刑事訴訟法	◎			○
刑事学	◎		○	
被害者学	◎		○	
平和学		◎	○	
国際法	◎		○	
国際人権法	◎		○	
政治学	◎			○
民法入門	◎			○
民法A	◎			○
民法B	◎			○
民法C	◎			○
商法入門	◎	○		
商法A	◎			○
商法B	◎			○
金融ウェルビーイング	◎			○
金融システム論	◎	○		
裁判法入門	◎			○
民事訴訟法	◎			○
倒産処理法	◎			○
民事執行・保全法	◎			○
国際私法	◎			○
国際取引法	◎			○
知的財産法	◎			○
消費者法	◎	○		
経済法	◎	○		
英米法		○	◎	
比較法	◎			○

社会保障法	◎	○		
労働法	◎	○		
西洋法制史	◎			○
ローマ法	◎			○
法学概論	◎			○
有価証券法	◎			○
知的財産入門	○			◎
データ・AIと法	◎			○
競争政策論	○			◎
知的財産法特論A	◎			○
知的財産法特論B	◎			○
保険法	◎	○		
租税法	◎			○
知的財産管理講座A	◎			○
知的財産管理講座B	◎			○
実践的中小企業経営法務		◎	○	
不法行為責任と法政策	◎			○
企業活動と法の実務		◎	○	
不動産法A	◎			○
不動産法B	◎			○
不動産法演習	○			◎
民事法研究A	◎			○
民事法研究B	◎			○
不動産金融法入門	◎			○
FP講座	◎			○
政策過程論	◎			○
国際政治学	◎			○
外交政策論	◎			○
地方自治論	◎			○
警察組織と警察実務	○	◎		
防犯ボランティア講座		◎	○	
警察研究A	○	◎		
警察研究B	○	◎		
警察実務演習A	○	◎		
警察実務演習B	○	◎		
消防研究	○	◎		
警察・消防行政法	○	◎		
消防組織と消防実務	○	◎		
犯罪心理学	◎			○
少年非行と少年法制	◎			○
刑事法研究A	◎			○
刑事法研究B	◎			○
警察活動研究		◎		○
企業研究		◎	○	
なら職業研究		◎	○	
総合教養講座・判断推理	◎			○
総合教養講座・自然科学	◎			○
総合教養講座・数的推理	◎			○
総合教養講座・計算基礎	◎			○
総合教養講座・計算基礎A	◎			○
体力科学A		◎		○
体力科学B		◎		○
論作文		◎	○	
論作文応用		◎	○	
国語表現法		◎	○	
社会人基礎力A		◎	○	
社会人基礎力B		◎	○	
アドバンスプログラムA		◎	○	
アドバンスプログラムB		◎	○	
アドバンスプログラムC		◎	○	
アドバンスプログラムD		◎	○	